



株式会社 **ニコン**  
広報・IR部

# 2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012年11月1日  
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

# Agenda

- I . 2013年3月期 上期の概況**
- II . 2013年3月期の見通し
- III . 参考データ

- ◆ 景気減速に加え円高が進行するなか、会社全体の売上高と各利益は前回予想を上回り、売上高は過去最高を更新

## 【精機】

- ・半導体・液晶露光装置ともに市場縮小の影響を受け、販売台数の前上期比は大幅に減少
- ・予想比では、収益改善施策の効果と経費削減で営業利益は上振れ

## 【映像】

- ・前上期比では、全ての製品群で市場成長率を上回る販売台数増加
- ・売上高・営業利益ともに予想を上回った
- ・2Qには堅実な営業利益率を確保(1Q:10.3% → 2Q:11.6%)

## 【インストルメンツ】

- ・公共予算の延期や設備投資抑制の影響により、前上期比微減収

- ◆ 中間配当金は 19円

# 2013年3月期 上期 連結売上高・損益

単位: 億円	12年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	13年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	4,863	4,850	4,972	+ 109	+ 122
営業利益 売上高比	611 12.6%	340 7.0%	371 7.5%	▲ 240	+ 31
経常利益 売上高比	651 13.4%	370 7.6%	395 7.9%	▲ 256	+ 25
当期純利益 売上高比	504 10.4%	270 5.6%	320 6.4%	▲ 184	+ 50
FCF	53	—	▲ 6	▲ 59	—
為替:ドル	80円	80円	79円	売上高への影響 ▲ 193      ▲ 30	
ユーロ	114円	101円	101円	営業利益への影響 ▲ 126      ▲ 8	

映像事業の上振れにより、売上高と各利益は前回予想を上回った

\* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

# 2013年3月期 第2四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン  
広報・IR部



単位: 億円	12年3月期 第2四半期実績	前回予想 (8/8)	13年3月期 第2四半期実績	前第2四半期 実績比	前回 予想比
売上高	2,407	2,256	2,378	▲ 29	+ 122
営業利益 売上高比	242 10.0%	107 4.7%	138 5.8%	▲ 104	+ 31
経常利益 売上高比	274 11.4%	136 6.0%	161 6.8%	▲ 113	+ 25
当期純利益 売上高比	197 8.2%	113 5.0%	163 6.9%	▲ 34	+ 50
為替:ドル	78円	80円	79円	売上高への影響 ▲ 69                      ▲ 30	
ユーロ	110円	100円	98円	営業利益への影響 ▲ 79                      ▲ 8	

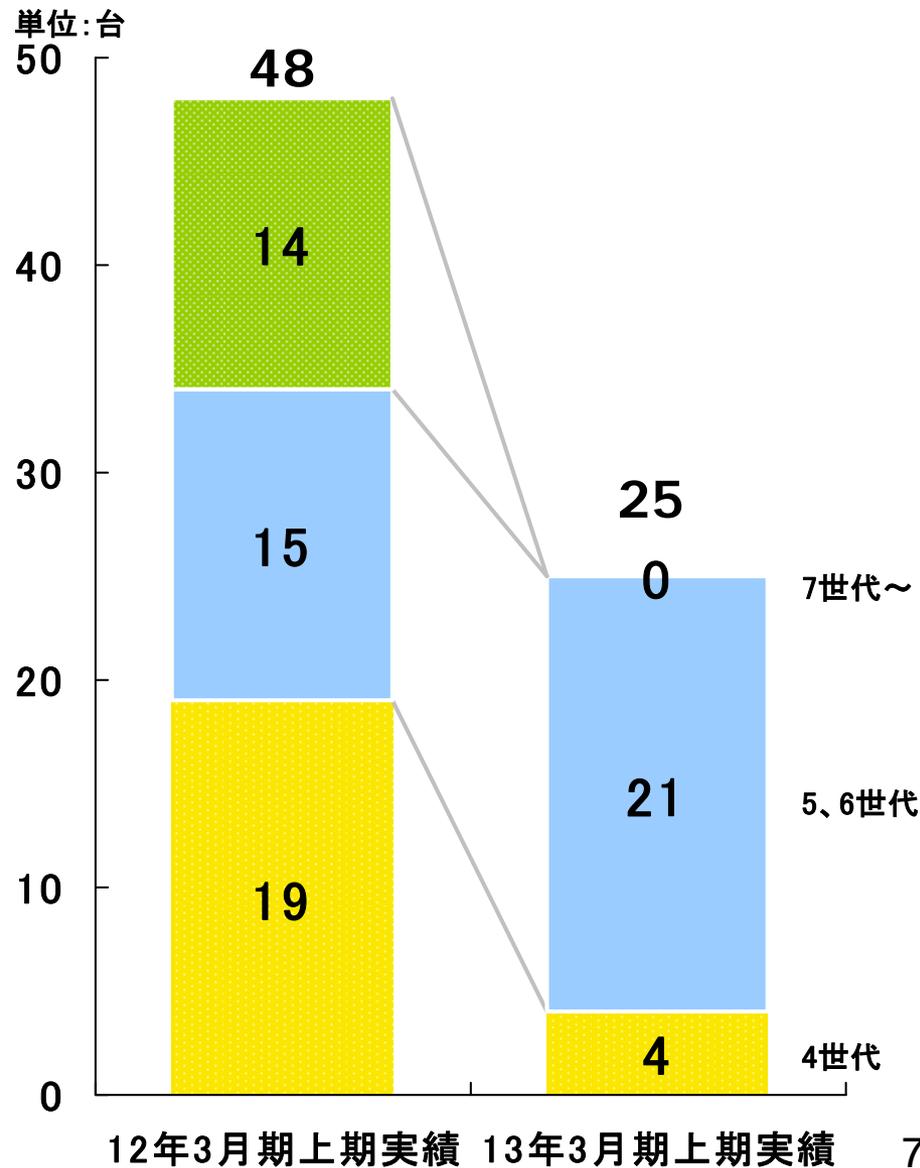
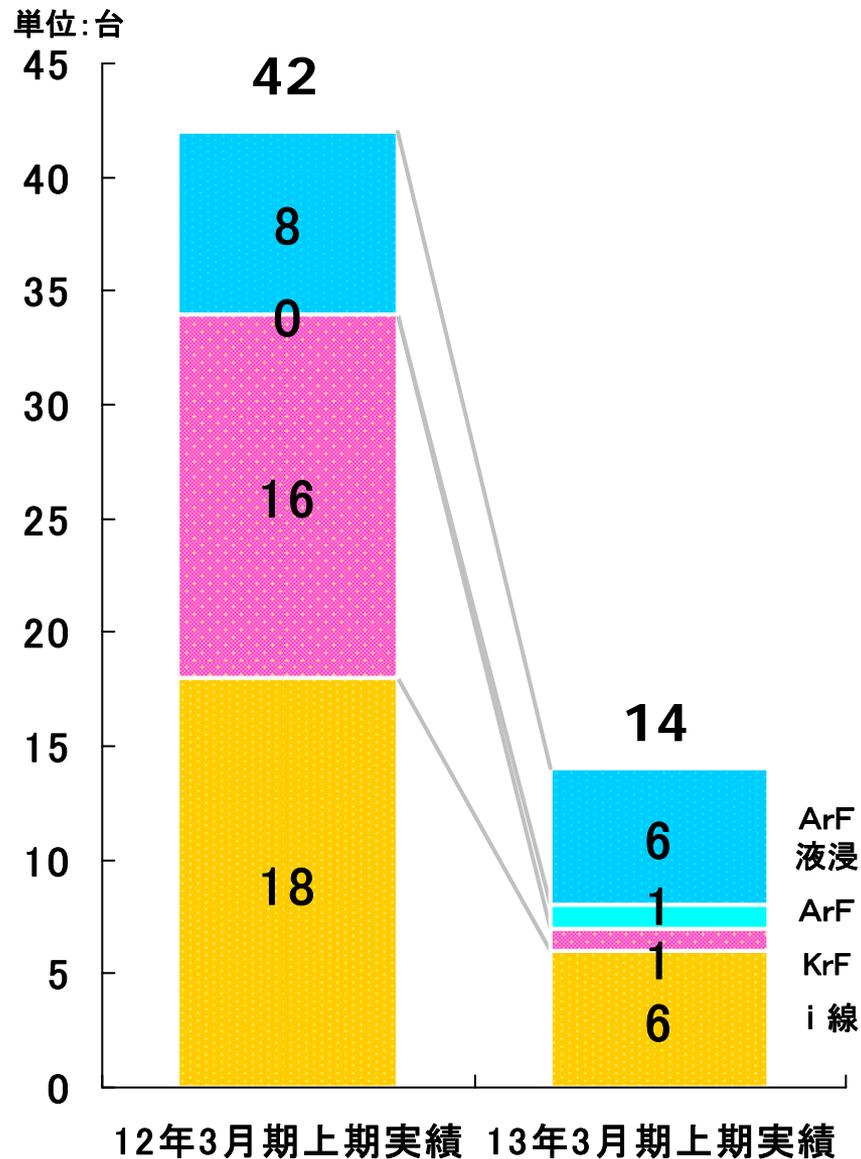
ユーロ安の進行やエレクトロニクス関連の設備投資抑制など事業環境は厳しく、前2Q比は減収・減益。映像は円高を吸収して2割増収・4割増益

# 2013年3月期 上期 精機カンパニー

単位: 億円	12年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	13年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	1,248	850	804	▲ 444	▲ 46
営業利益 売上高比	232 18.6%	60 7.1%	72 9.0%	▲ 160	+ 12
半導体露光装置 新品/中古	26/16台	12/9台	9/5台	▲17/▲11台	▲3/▲4台
液晶露光装置	48台	28台	25台	▲ 23台	▲ 3台

設備投資先送りなどによる販売台数未達から売上高は前回予想を下回ったが、収益構造改善の効果と経費削減により営業利益は上回った

## 半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数



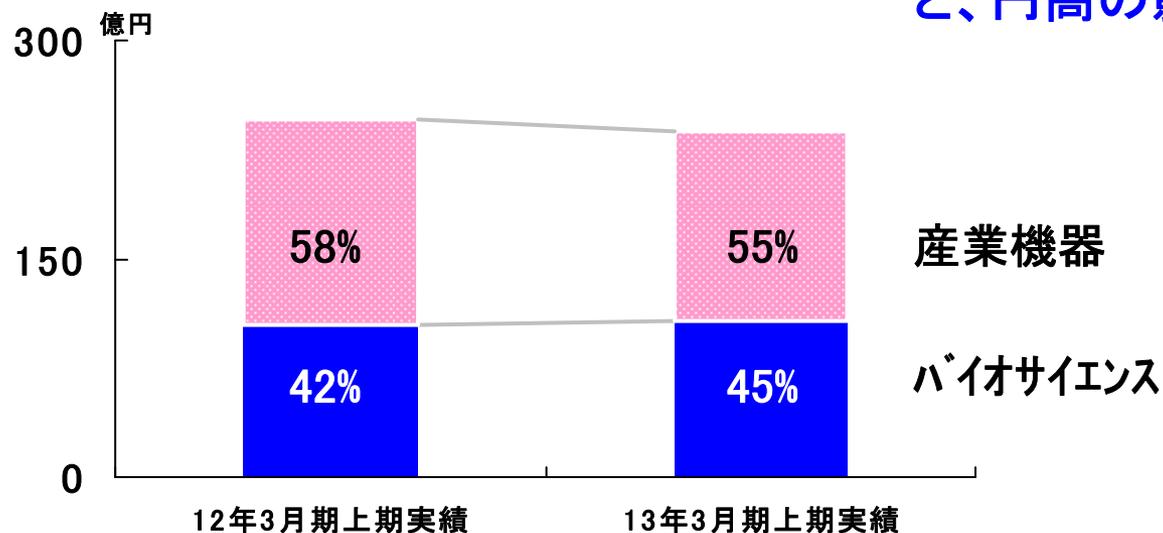
# 2013年3月期 上期 映像カンパニー

単位: 億円	12年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	13年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	3,245	3,600	3,810	+ 565	+ 210
営業利益 売上高比	474 14.6%	370 10.3%	418 11.0%	▲ 56	+ 48
レンズ交換式 デジタルカメラ	273万台	340万台	345万台	+ 72万台	+ 5万台
交換レンズ	393万本	490万本	477万本	+ 84万本	▲ 13万本
コンパクト デジタルカメラ	786万台	840万台	826万台	+ 40万台	▲ 14万台

前上期比の販売台数はレンズ交換式カメラ26%増、交換レンズ21%増。コンパクトタイプは市場が縮小するなかで5%増。予想比では、懸念された欧米の販売が堅調だったことと、商品ミックスの好転で売上高・営業利益ともに上振れ。円高の逆風を吸収し、売上高は過去最高を更新

# 2013年3月期 上期 インストルメンツカンパニー

単位: 億円	12年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	13年3月期 上期実績	前上期 実績比	前回 予想比
売上高	246	240	237	▲ 9	▲ 3
営業利益 売上高比	▲ 23 —%	▲ 25 —%	▲ 29 —%	▲ 6	▲ 4



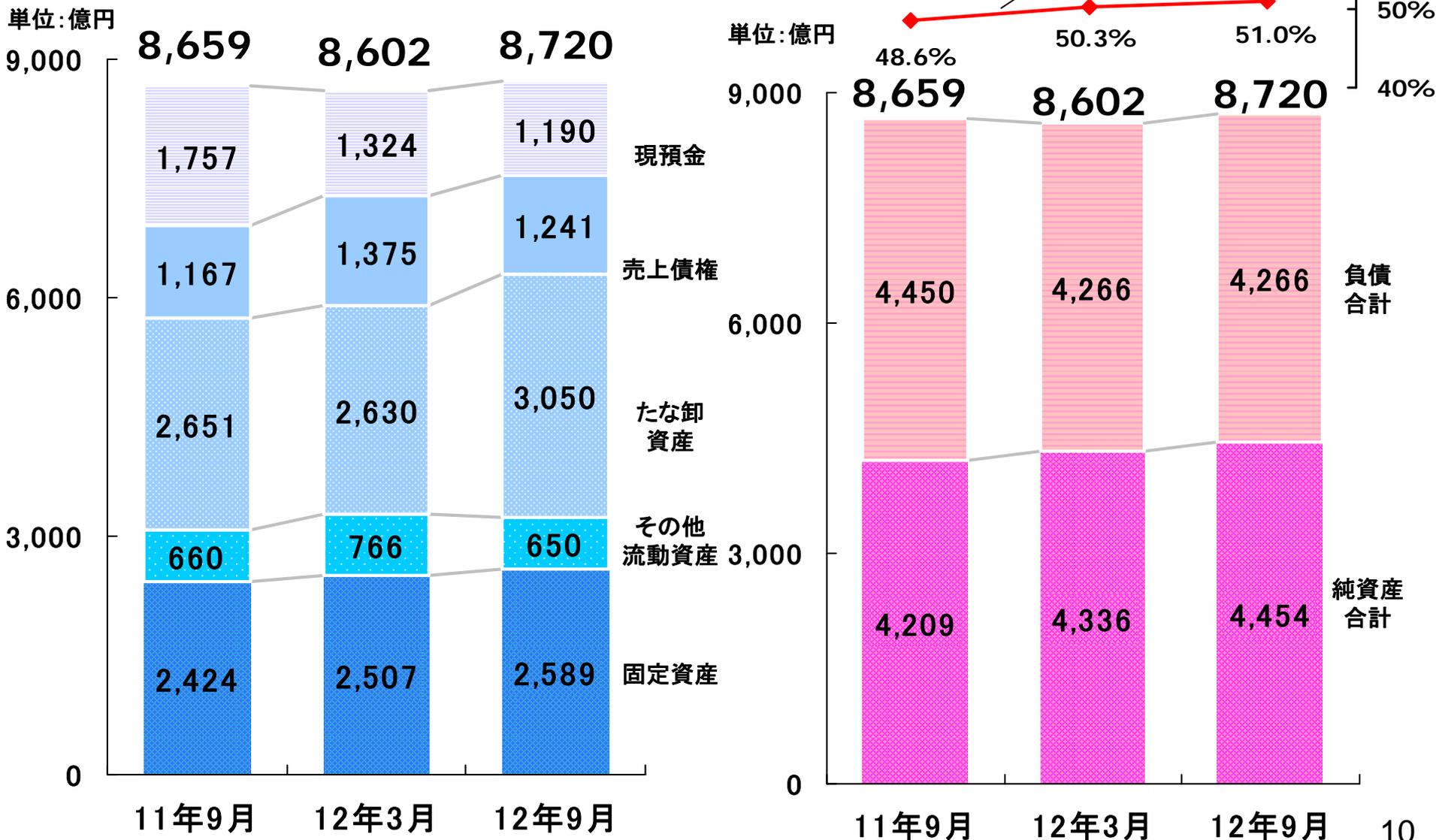
産業機器分野の半導体設備投資抑制と、円高の影響で前上期比微減収

# 2013年3月期 上期 B/S内訳

## 資産

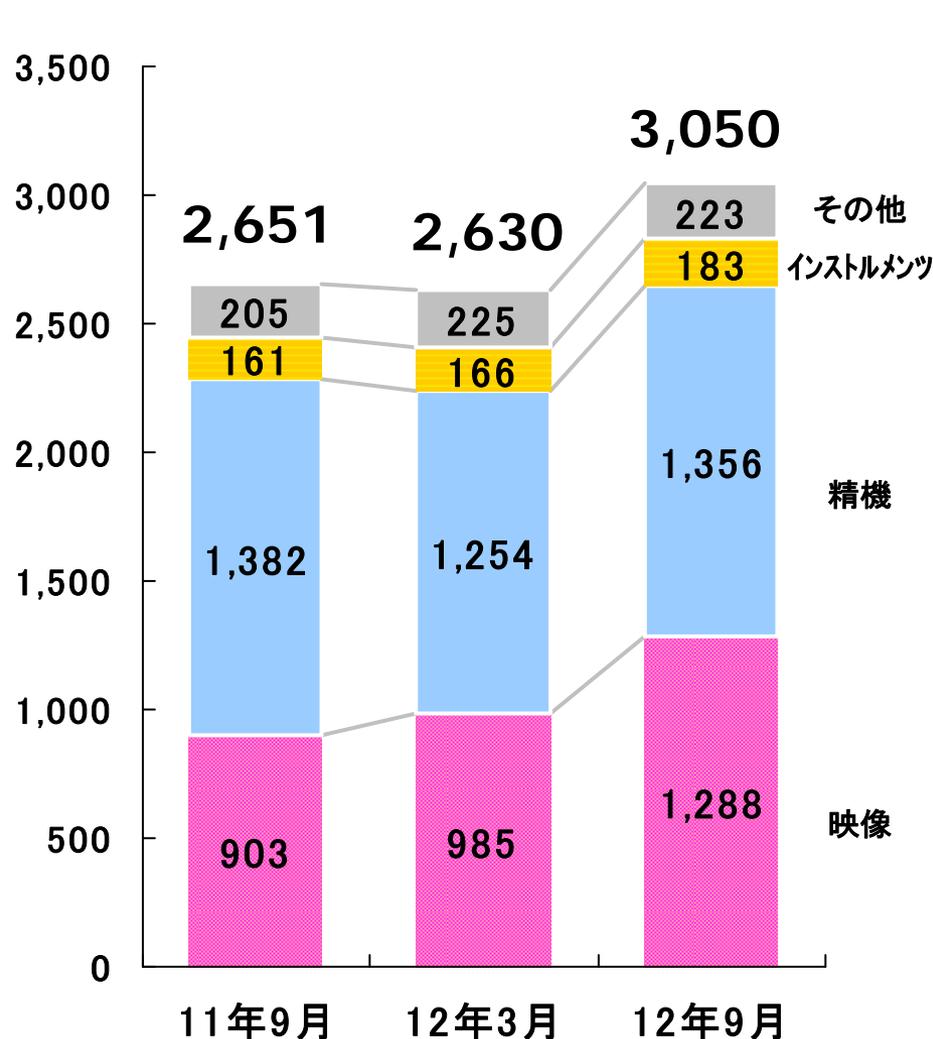
## 負債・純資産

自己資本比率



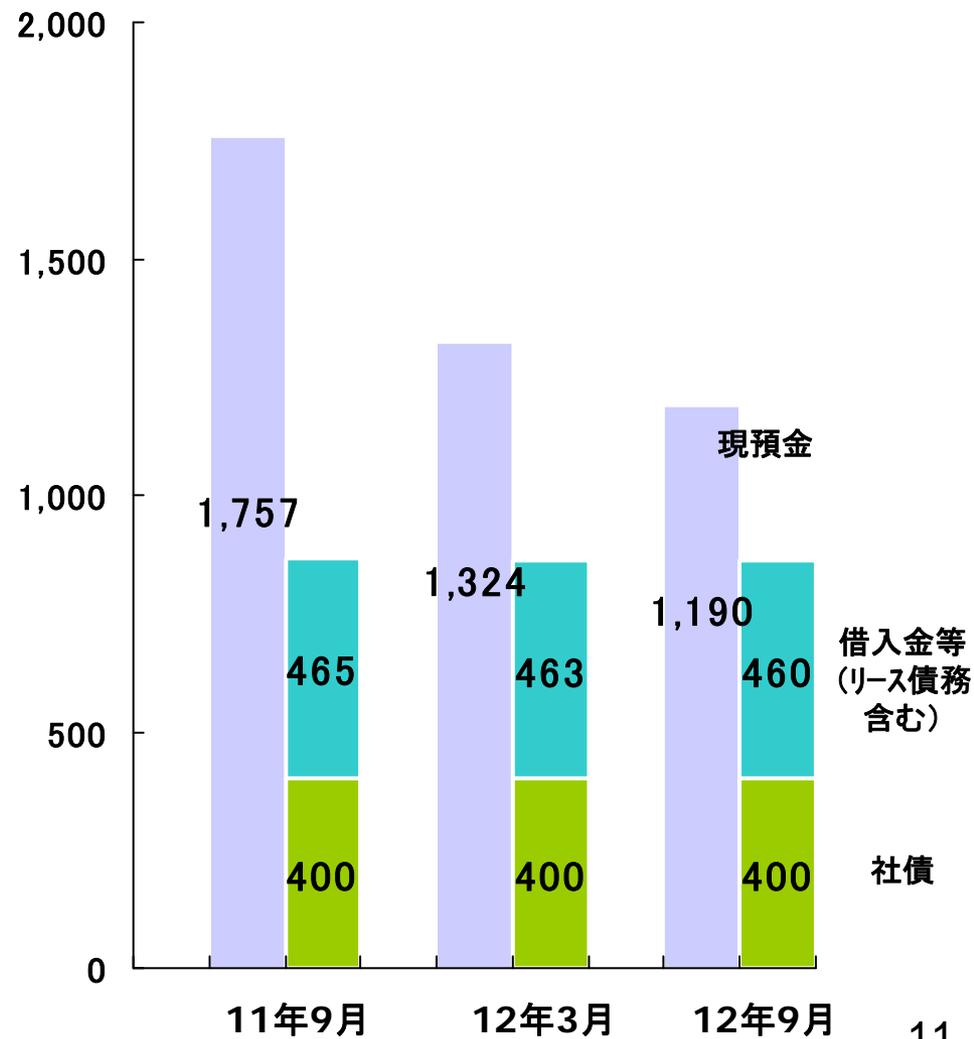
## 棚卸資産

単位：億円



## 現預金・有利子負債

単位：億円



# Agenda

- I. 2013年3月期 上期の概況
- II. 2013年3月期の見通し**
- III. 参考データ

## ◆ 半導体設備投資の急減速により、会社全体の売上高・営業利益・経常利益を下方修正

### 【精機】

半導体露光装置の販売台数を大幅に下方修正するが、前年に実施したリードタイム短縮等の収益構造改善効果と、経費削減により、黒字を確保する計画

### 【映像】

下期の見通しはほぼ据え置くが、上期の上振れを反映し、通期見通しを上方修正

### 【インストルメンツ】

バイオサイエンス分野は日本はじめ各国の政府予算延期・縮小、産業機器分野は設備投資抑制の影響を受け、通期見通しを下方修正

## ◆ 年間配当金 41円の予定は据え置く

# 2013年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/8)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比	上期 下期
売上高	9,186	$\frac{4,863}{4,323}$	10,200	$\frac{4,850}{5,350}$	10,100	$\frac{4,972}{5,128}$	+914	▲100	$\frac{+122}{\blacktriangle 222}$
営業利益	800	$\frac{611}{189}$	850	$\frac{340}{510}$	720	$\frac{371}{349}$	▲ 80	▲130	$\frac{+ 31}{\blacktriangle 161}$
売上高比	8.7%		8.3%		7.1%				
経常利益	893	$\frac{651}{242}$	900	$\frac{370}{530}$	750	$\frac{395}{355}$	▲143	▲150	$\frac{+ 25}{\blacktriangle 175}$
売上高比	9.7%		8.8%		7.4%				
当期純利益	593	$\frac{504}{89}$	600	$\frac{270}{330}$	600	$\frac{320}{280}$	+ 7	± 0	$\frac{+ 50}{\blacktriangle 50}$
売上高比	6.5%		5.9%		5.9%				
FCF	▲340		300		200		+540	▲100	—
為替 ドル	79円	$\frac{80円}{78円}$		80円	80円	$\frac{79円}{80円}$			
ユーロ	109円	$\frac{114円}{104円}$		101円	100円	$\frac{101円}{100円}$			

映像事業は上方修正するが、精機事業は半導体露光装置の販売台数減少により下方修正。会社全体では売上高・営業利益・経常利益を下方修正

\* 前回予想とは2012年8月8日発表における予想です。

# 2013年3月期 見通し 精機カンパニー

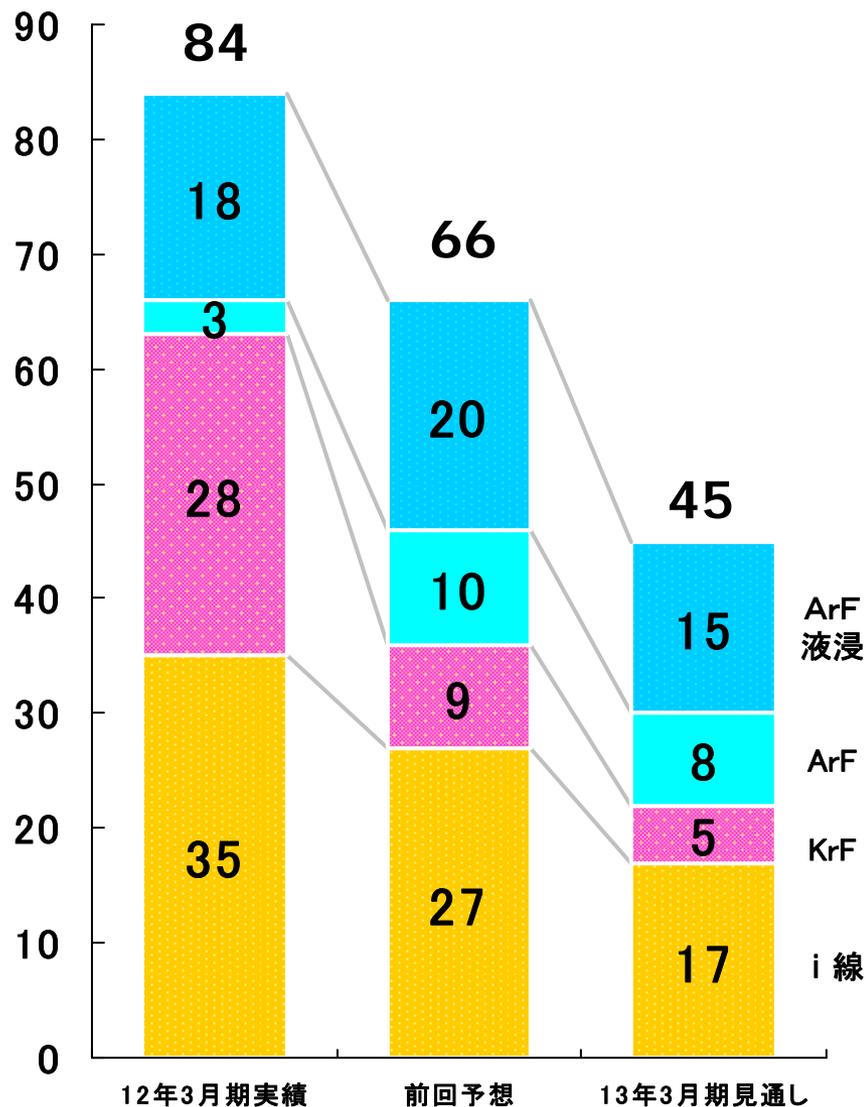
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/8)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	2,481	$\frac{1,248}{1,233}$	2,100	$\frac{850}{1,250}$	1,850	$\frac{804}{1,046}$
営業利益 売上高比	427 17.2%	$\frac{232}{195}$	250 11.9%	$\frac{60}{190}$	110 5.9%	$\frac{72}{38}$
半導体露光装置 新品/中古	55/29台	$\frac{26/16}{29/13}$	46/20台	$\frac{12/9}{34/11}$	28/17台	$\frac{9/5}{19/12}$
液晶露光装置	86台	$\frac{48}{38}$	42台	$\frac{28}{14}$	42台	$\frac{25}{17}$
半導体露光装置 市場規模 CY11/12	311台		240台程度		230台程度	
液晶露光装置 市場規模 CY11/12	109台		60台程度		60台程度	

設備投資の急減速により半導体露光装置を大幅に下方修正するが、収益構造改善施策の効果と経費削減で営業黒字は維持する計画

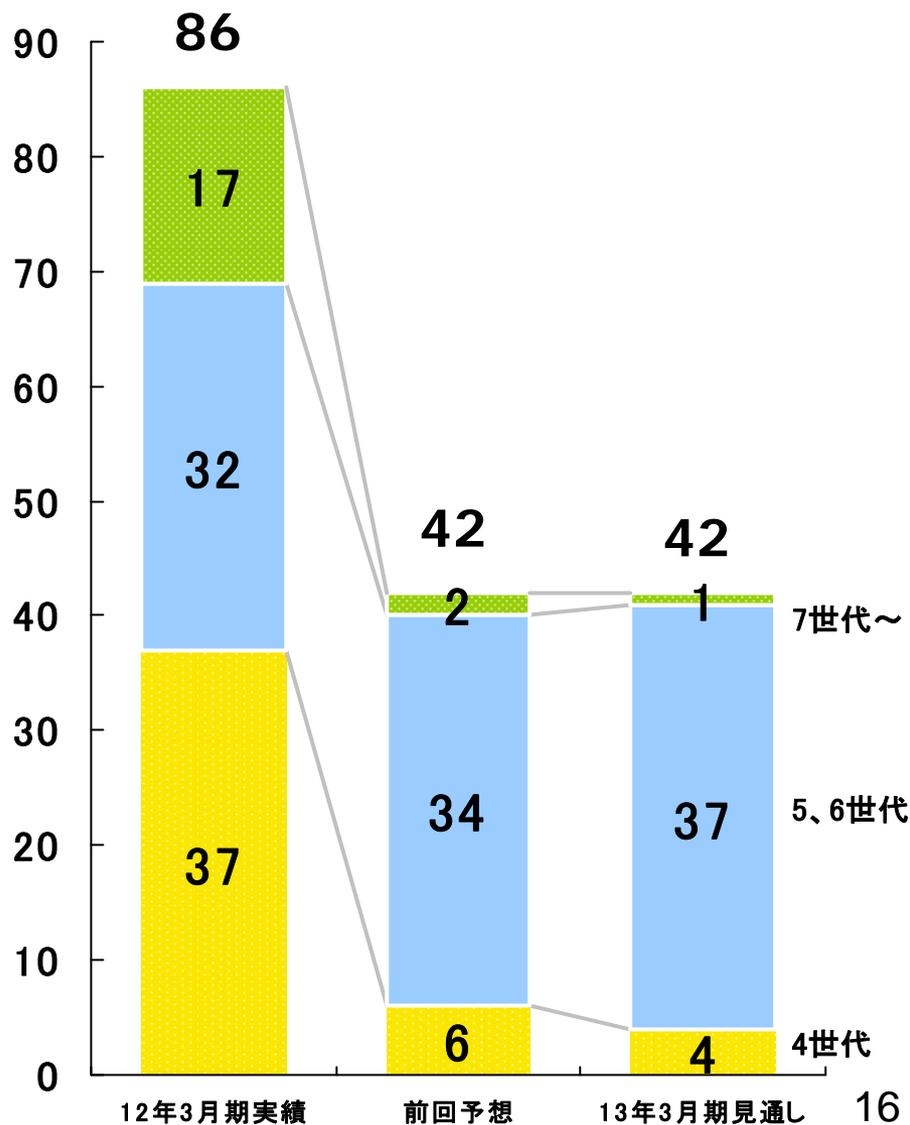
# 2013年3月期 見通し 精機カンパニー

## 半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台



# 2013年3月期 見通し 映像カンパニー

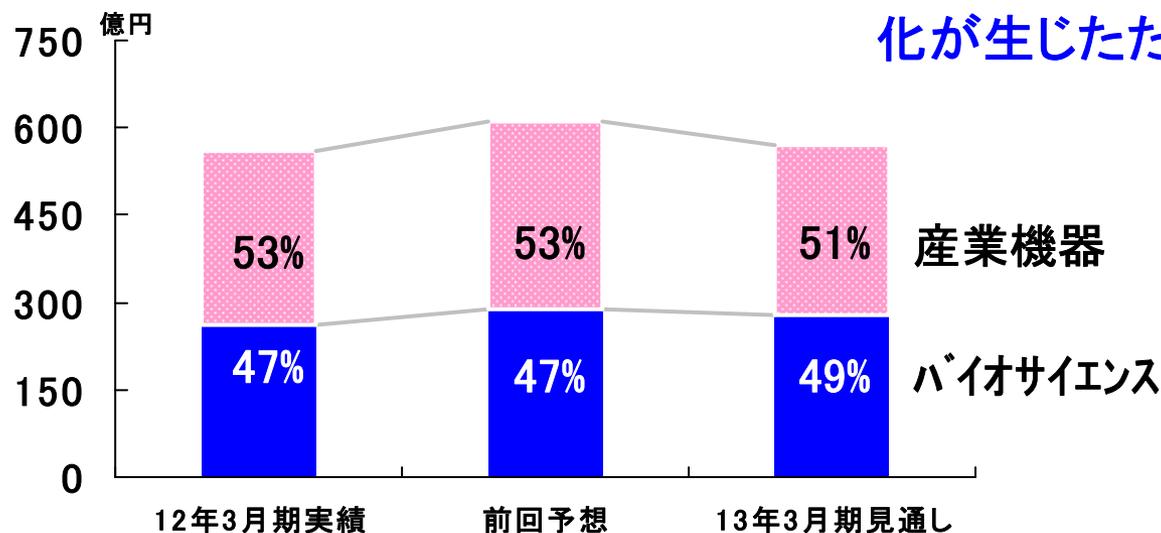
単位:億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/8)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,871	$\frac{3,245}{2,626}$	7,200	$\frac{3,600}{3,600}$	7,400	$\frac{3,810}{3,590}$
営業利益 売上高比	539 9.2%	$\frac{474}{65}$	750 10.4%	$\frac{370}{380}$	800 10.8%	$\frac{418}{382}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	474万台	$\frac{273}{201}$	700万台	$\frac{340}{360}$	710万台	$\frac{345}{365}$
交換レンズ	713万本	$\frac{393}{320}$	1,000万本	$\frac{490}{510}$	1,000万本	$\frac{477}{523}$
コンパクト デジタルカメラ	1,737万台	$\frac{786}{951}$	1,800万台	$\frac{840}{960}$	1,700万台	$\frac{826}{874}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,633万台		1,900万台		1,900万台	
交換レンズ 市場規模	2,641万本		3,100万本		3,100万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	9,933万台		9,500万台		8,000万台	

新興国をはじめ各地域で景気がスローダウンしており、下期のカメラ市況は予断を許さぬ状況だが、商品力を活かし、レンズ交換式カメラは10万台の上方修正

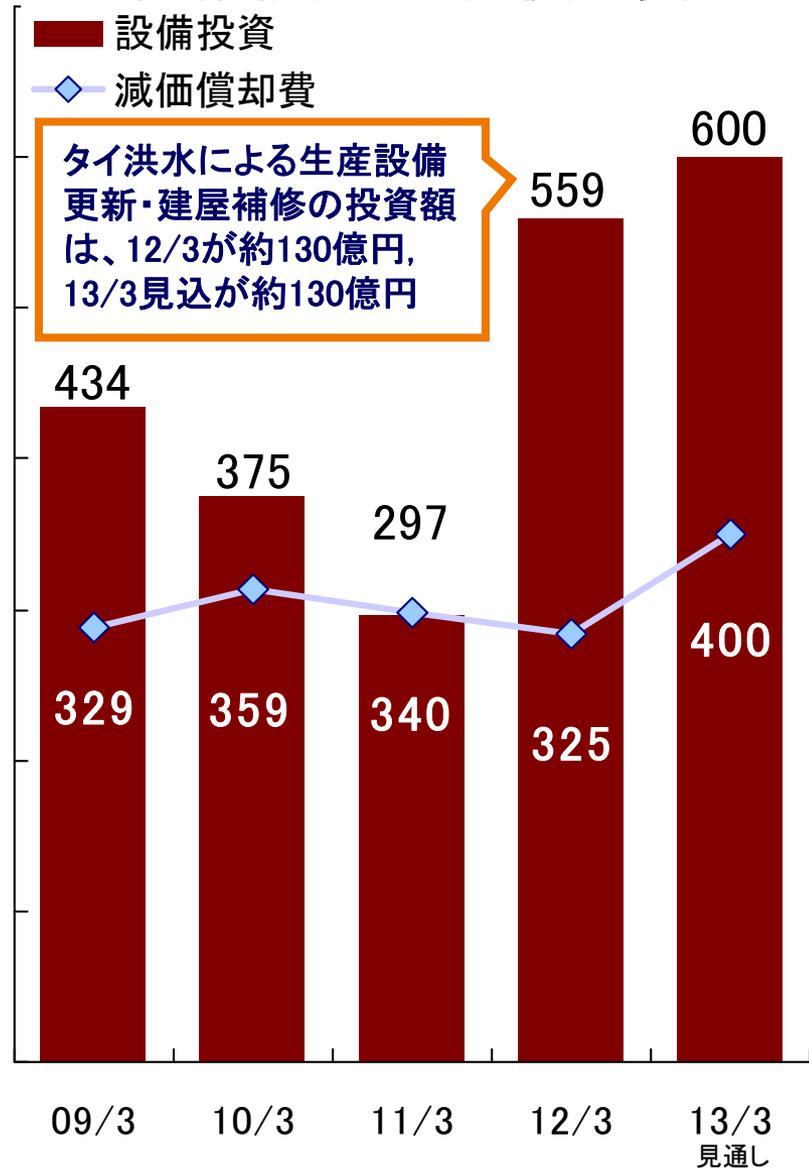
# 2013年3月期 見通し インストルメンツカンパニー

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/8)	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	560	$\frac{246}{314}$	610	$\frac{240}{370}$	570	$\frac{237}{333}$
営業利益 売上高比	▲31 —%	$\frac{▲23}{▲8}$	▲10 —%	$\frac{▲25}{15}$	▲30 —%	$\frac{▲29}{▲1}$

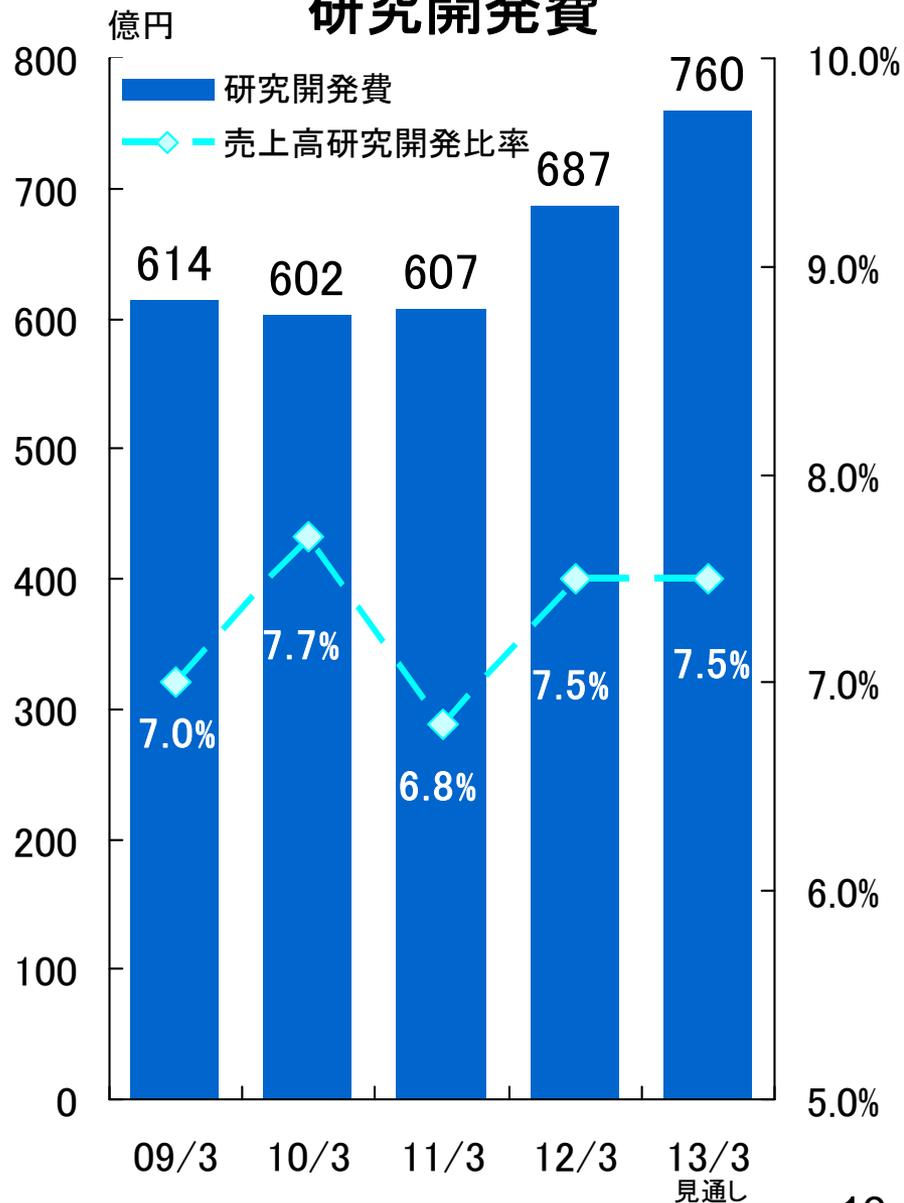
日本の政府予算執行遅延、半導体設備投資の急減速など下期の事業環境に変化が生じたため、通期見通しを下方修正



## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



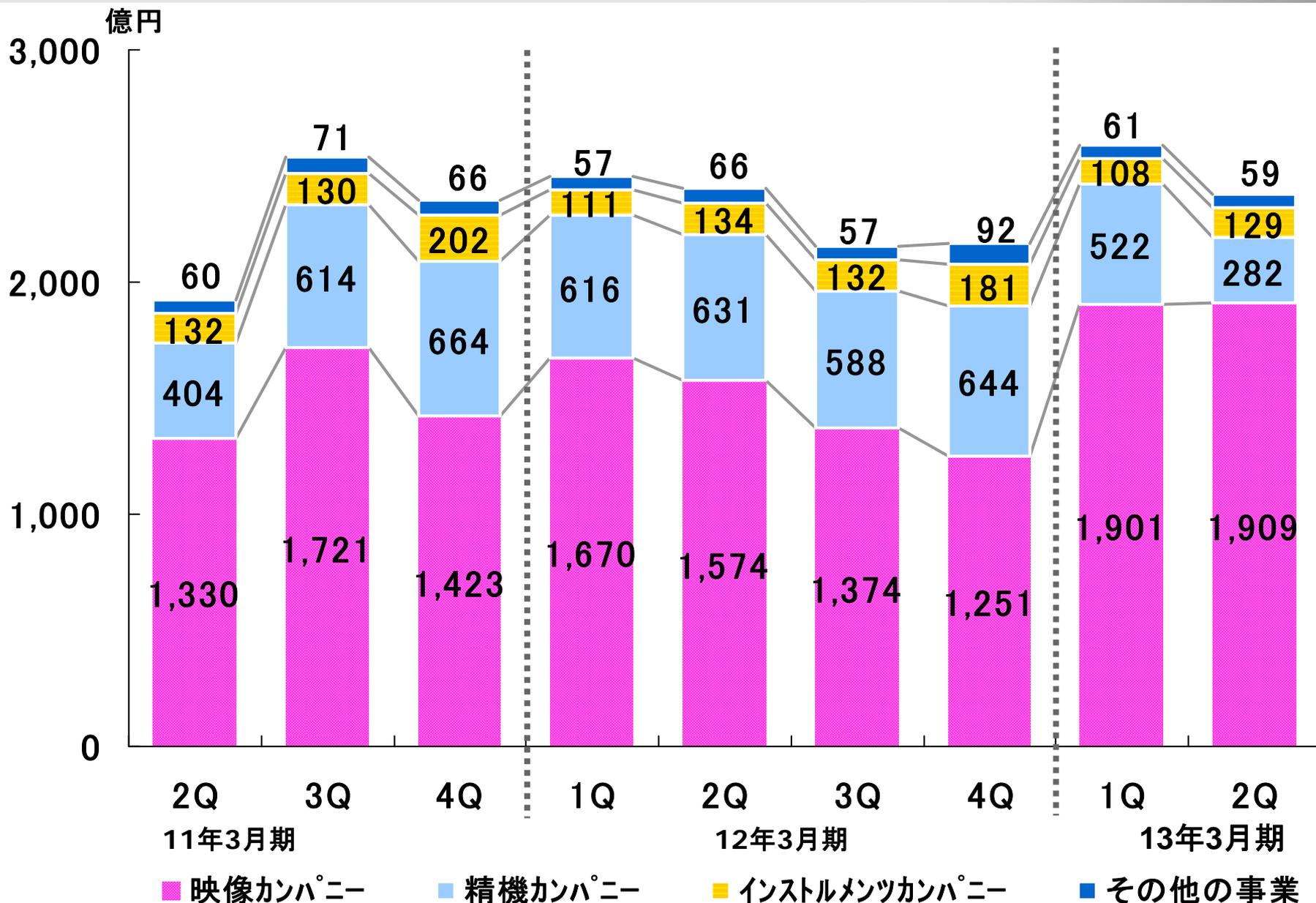
# Agenda

- I. 2013年3月期 上期の概況
- II. 2013年3月期の見通し
- III. 参考データ**

## 2013年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	13年3月期 下期前提	売上高 下期	営業利益 下期
USドル	80円	約 34億円	約 2億円
ユーロ	100円	約 12億円	約 7億円

# 参考データ 四半期セグメント別売上高推移



\* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。





**NIKON CORPORATION**